

# 2015/16 WEEKLY BULLETIN



国際ロータリー第 2790 地区第 3 分区B

## 市原ロータリークラブ会報



世界へのプレゼントになろう

第 2536 回例会 2016 年 3 月 2 日 (水)

SAA (司会) / 山本会員 会報担当 / 福原会員

事務局 市原市五井中央西 1-22-25 市原商工会議所 2F

例会場 五井グランドホテル

- 点 鐘 市原 RC 会長 万崎英正
- ソング 君が代 奉仕の理想 4つのテスト
- お客様 米山記念奨学生・李 俊傑様
- 会長挨拶 市原 RC 会長 万崎英正



みなさんはもうメール等でご承知かと思いますが、この度、国際ロータリーより 2016 - 17 年度ポリオのない世界のための 奉仕賞 (地域賞) に我がクラブの白鳥パストガバナーが受賞者に選ばれました。RI からの表彰です。会員一同謹んでお祝い申し上げます。白鳥さんおめでとうございます。長年のご苦勞が報われたのではないのでしょうか。4月 29日の地区研修・協議会でご披露されることと思われます。それは我がクラブの誇りでもあります。そしてこの喜びを我がクラブの「元気なクラブ創り」の起爆剤としてクラブが元気になって行きましょう。

白鳥さんには後日世界のポリオ事情と白鳥さんの今日までのご苦勞を卓話でお聞かせ願いたいと、プログラム委員会でも用意をしています。是非お願いいたします。

先週の例会では長期計画委員会のテーブルディスカッションが行われました。各テーブルで沢山の意見が出されました。例会後に委員会が開かれ、例会の食事の開始時間等、有効な例会の時間使いと会員のためになる内容はどうしたらいいだろうか。今回の理事会に、すぐに食事開始時間が上程され、可決されました。食事時間を早め卓話時間を長くする工夫がなされました。このように少しずつではありますが、会員のためになる例会創りを考え、実行しています。今後数回の長期計画委員会のディスカッションが行われますが、多くの会員の意見をお聞かせください。それが「元気なクラブ創り」の基礎になっていくからです。

### ◆◆◆◆◆ 幹事報告 ◆◆◆◆◆

台湾地震被害への義捐金 1 人 500 円が承認されました。

新千葉 RC50 周年の案内が来ております。

次年度 PJ 交換留学生のためのプロジェクト委員会が結成されました。

RI 年次基金寄付について会員全員より 100 ドルの寄付が承認されました。

### ◆◆◆◆◆ 委員会報告 ◆◆◆◆◆

長期計画委員会委員長・西村 (芳) 会員

2325 回例会・2 月 24 日に実施したテーブルディスカッションについての精査議事録の配布

### ◆◆◆◆◆ お客様ごあいさつ ◆◆◆◆◆

米山記念奨学生・李 俊傑様

奨学金の授与が万崎会長より行われました。



## 本日のメインプログラム

### 白鳥会員の卓話

#### 私の結婚

白鳥 政孝

3 月 8 日は 52 回目の結婚記念日である。東京オリンピックの年であった。妻 22 歳、私が 30 歳であった。当時の結婚平均年齢は男子 25 歳だった。30 歳は当時としては晩婚であった。25 歳の時、人を恋して人生を謳歌していたが、ならぬ事情で結婚を諦めなければならなかった。この心の痛手は相当なものだった。3 日 3 晩部屋に籠って儘にならないこの世の不条理をひたすら嘆いた。母親が心配して食べ

物をそっと置いてくれた。何も言ってくれない淋しさの反面ありがたかった。いつまでくよくよしては仕事をどうするのだとの思いが葛藤していた。流行歌の文句がこころにしみ「雨に咲く花」の詩はその通りだと思った。

2年経過した頃、市原ロータリークラブの会員であった恩師の廣川善任先生と出会い、先生の紹介で結婚した。それが晩婚になった訳である。今度は紹介された妻と結婚できなければ、私の人生終わりだとの思いで積極的になり、昭和39年3月8日に結婚式を挙げた。9人兄弟の末っ子で周囲は親類縁者が多く、仕事の上でも企業の方がよく家に来て父親と話していた。妻は私の非社交性を補ってくれて余りあるものがあり、周辺に潤いをもたらしてくれた。

妻は子供の世話とはもかく両親の世話に至ってはよく尽くしてくれた。強がりの私は態度で感謝を表すことが不得手にも拘らずよくやってくれた。全く頭の上がらないことだ。

72歳の時、地区ガバナーの要請があり、家内の猛烈な反対に挫折するのではないかと一時は危惧したが、4日程して了解を得られた。ホッとしたが、これからがまた大変なことになった。2年連続のガバナー就任の時も同じようなことが起きてしまった。これも4日ほどして解決したけれど2年連続は体力の消耗が激しかった。気力だけで何とか持ち堪えた。この時も家族全員が私の健康に気遣いがあった。特に妻の支えはありがたく、精神的にも本当に助かった。

今思うとは私の健康・こころの支えは妻に帰するところ大である。私は妻によって生かされていたといっても過言でない。廣川先生には妻とともに毎年感謝している。以上が私の結婚祝い月の話です。

80歳になったときに今後の人生の在り方を考えた。いわゆる余生を楽しもうと思ったが、外山滋比古さんの「二毛作人生」に出会い、今までお世話になったロータリーと周囲の方々へ少しでも役に立つことの大切さを知らされた。私は「二毛作人生」に挑戦する気になった。昨年3月31日に自分だけの決め事として書いてみた。

週報の一端にのせていただくことにした。私の決意に鈍るとこあれば、私「二毛作人生」を公開した手前緊張感をもって人生を歩むことになる。

## 私の二毛作人生

白鳥 政孝

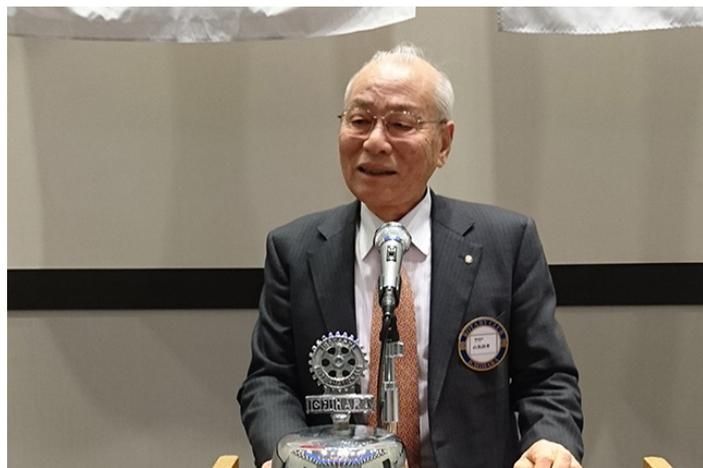
大学卒業後、3年間の修行の積りで大阪の間屋街に丁稚奉公よろしく住み込みで働いたが、1年で切り上げ1959年4月に店舗を立ち上げた。東京湾岸の埋立地に大手企業の工場が進出し、市原の地に発展が期待されたからだ。地盤もなく電気の知識も無いまま叔父の経営する電気材料販売会社（東京・浜松町）を頼りに電気材料を扱う商いを始めた。折しも皇太子殿下と美智子妃殿下との御成婚式がその年の4月10日に執り行われたのでした。

顧客の開拓、特に大手工場の窓口開設を狙い、玄関払いにも屈せず、地元の利を生かして便利屋的な商法にかけた。今思うと、無謀であったと思うが夢中だった。

商品知識の乏しさは他人の力を借りてカバーし、こまめなフットワーク

と誠実さで企業の窓口獲得に奔走した。当時の京葉工業地帯の工場は川鉄千葉工場のみが資材の購入先や工事の請け負う先は整っていたが、他は関西系の下請会社が親会社に付随して進出していたぐらいで、交通の不便な千葉の市原には工場建設に必要な物資を扱う会社や工事会社は全くなかった。それが幸いして窓口の獲得ができたのではないと思う。

お客様から商品や材料名を教えてもらい、叔父の会社に発注しては夜間に引き取りに行き、素早く納入した。どんなものでも、どんな工事でも逃げずに受注した。人の関係を最大に活用して仕入れを、工事請負を探し、発注した。当時は資格がなくても受注し、仕事ができ、商品の納入ができたのである。



お客様のためになることだけを考えて行動し、後に知る職業奉仕の一部を夢中で実践していたと思う。世のため、人のためなど考える余裕など全くなかった。スムーズな受発注のために信用を失うことのないように細心の注意を払った。原則、支払は20日締め翌月10日に現金支払いを厳格に守った。

日本経済の高度成長に恵まれ、仕事も順調に推移し、誘われて46歳の時（1981年）ロータリークラブに入会した。学生時代「人生わずか50年」といわれていた。それが60年となり、一般に55歳が定年となった。50歳の時、還暦を潮に仕事と公職を離れて第二の人生を歩むことにしていたが、バブル経済の破綻で不況に見舞われてしまい、暫く会社の手助けをせざるを得なかった。

ロータリーでは1992年にクラブ会長、1994年に地区職業奉仕委員会へと出向させられて休む間もなく2000年には分区代理（最後の分区代理）を務めた。今度こそ、ロータリーを離れられるとワクワクしていたが、降って湧いたようにロータリーの友地区委員と、2002年には地区青少年委員会委員を務めさせられた。

二度、三度、四度、五度とロータリーの地区の役の流れは止まらず、地区のガバナーエレクト不在の緊急事態に対応して、数か月間のガバナーノミニーを受けざるを得なくなった。エレクト、ガバナーと、さらにもう一年と続くガバナーと、前代未聞の2期連続ガバナーを務める破目になった。2回目は途中からの就任でなく一からの出直した。半年間はガバナーとガバナーエレクトの二役をこなさなければならなかった。気持ちの切り替えが難しかったが、心身ともに相当に負担がかかった。それでも責任感からすべてにわたって任務を果たした。RI会長エレクトからは前例のないことだからと特別な配慮をしてくれたていたようだ。加齢により体力・能力が減退していくなか、任務を務めなければなら

いという気力だけで汲々としていた。クラブや委員会にとっては傍迷惑だったろうと思うが、一回目の経験から幹事団とともに知恵を絞り、任務にベストを尽くした。家族をはじめ、多くの人の力（情け）で、人は生かされ、人は生きている。と、しみじみ味わい、「他力」そのものだった。自分で求めたのではなく、人に導かれていった。ということだ。2回目のガバナー就任に当たりどんぶり勘定の地区会計に手を加えエレクトの予算を計上することにした。

今にして思うことはガバナーの任務中にロータリーの中核的価値観である高潔性、多様性、リーダーシップを訓練して洞察力や教養を身に付けてきたようだ。中でもロータリーの横一線といわれる「対等な人間関係」に強く惹かれて、それは私の信念となった。鈴木憲輔先生や成田クラブの成田さんからの影響を強く受けていた。

その後、各クラブや IM の卓話を務めさせられ休む暇もなかった。2011年3月11日に襲った東日本大地震と津波による被害は大きく日本の原子力発電の杜撰な管理が浮き彫りにされた。2012年4月に前立腺癌が発見され、癌の切除と放射線治療と半年間の休養をせざるを得なかった。

米山記念奨学会本部の広報評議員やガバナー会の外郭団体である RIJYEC の社員を務め、青少年の交換の危機管理の重要性を知った。さらにポリオ撲滅の第1ゾーン EPNC の経験は WHO、UNESCO、外務省、厚労省の担当官との接触からロータリーの存在観を肌で感じた。その間、並行して RLI に没頭した。RLI はロータリーの対等な精神とその心を養う最高の手段であることと対等な関係で話し合いをする対話が世におよぼす影響は計り知れないと思った。ロータリーにおける最終の仕上げと思ひ、全知全能を傾けた。

こうして振り返ると、還暦を機に第二の人生に入るところを地区ロータリーの委員や地区ガバナーと全国のロータリーの役職に20年の歳月を費やしてしまった。今、思うと、海への憧憬を叶えるヨットへの趣味に没頭するチャンスが潰れてしまった。ロータリー歴35年のうち後半20年のロータリーライフは第二の人生への序章であったのではないかと思う。未知の世界、人間としての鍛練、向上心、他へも思いやりなど実に学ぶことが多かった。これが余生を楽しむどころか、さらなる精進を重ねなければならぬと思うに至った。

余生を楽しむという第二の人生を歩むのではなく、もう一度、今まで培った人生哲学をもって残りの人生に何かを行う人生、すなわち二毛作の人生があってもいいのではないかと思った。この二毛作人生の基本の考えは「対等の思想」である。60歳から80歳までのロータリーライフで身に付けた「対等の思想」とロータリーの中核的価値観もって新しい人生を歩むという二毛作の人生に既に入っていたことになる。私の二毛作人生は60歳から既に始まっていた。

ロータリーの功徳を自分だけにしては意味がない。家庭、事業、地域社会、クラブに生かさなければ、理念・哲学は画餅に過ぎない。二毛作人生に生かすことが肝心である。ではこれからの人生を過ごす基本の考えを記しておくことにした。

1. 「超我奉仕」と「四つのテスト」、「対等」を基本にする
2. 知識より思考を重視する

知識を披露するより、どんな思考であるかを話し合うことが大切であり、知識の底に潜む本質を考える。対話を重要視する

3. 言行一致、知行合一に留意する

「四つのテスト」にて行いを省みる

4. 大作を読み返すことに挑戦する

5. Face to Face の雑談をする

お互いに尊重し合う仲間との3人～5人ほどの雑談を大切にす

「君子の交わりは淡きこと水の如し」であり、「肝胆相照らす仲」にならないように心がける

「学びて時にこれを習う、また説ばしからずや。朋あり、遠方より来たる、また楽しからずや」

雑談・放談は人生の最大の学びと、喜びであり、薬味でもある

6. 規則正しい生活の上に知的好奇心を失わずに知的生活を楽しむ

7. 「最も理想的な指導者とは、部下からその存在さえも意識されない。部下から敬愛される指導者は、それよりも一段劣る。これよりもさらに劣るのは、部下から恐れられる指導者である。よき指導者とは、功を成し遂げても自らそれについては語らず、人々が『われわれは自分たちの力で成し遂げたのだ』と喜ばば、それで目的を果されたとする」

この考えをあらゆるところで適用する

8. 一生人間性向上に努め、それが周囲にどんな影響をおよぼすかは不明でも、自身の向上に務めることだ

綺麗ごとであるかもしれないが、上記を心がけるようにした。こうすることが自分の趣味に没頭するより数倍楽しいことを経験上知った。こころの充足感に勝るものはないということだ。だから私の1から8は60歳からの二毛作人生の基本的な姿勢となっている。



## 白鳥会員

このたび、ポリオのない世界奉仕賞を受賞しました。これも、ひとえに皆様方のご支援があったからこそであります、ありがとうございます。

## 西村（芳）会員

今日で68歳になりました。二兎を追う者は一兎も得ずと言いますが、私は、待ち受けておりますクラブ会長職を主にし、会社経営と二兎を追う所存です。

## 万崎会長・平野幹事

白鳥会員 RI からの「ポリオのない世界賞」受賞おめでとうございます。結婚記念日おめでとうございます。私達と二人と真逆にいらっしゃる白鳥さんにただただ敬服いたします。

失恋という言葉、はじめて直接聞きました、“スローバラード”が頭の中を駆け巡りました。純愛・バンザイ。

■誕生祝 赤星会員 角谷会員 西村（芳）会員 福原会員

■結婚祝 小池会員 白鳥会員 山田会員 小泉会員 長田会員

■出席報告 前々回確定 80.56% 本日出席 25名  
欠席 17名 本日出席率 70.27%

■点 鐘 市原 RC 会長 万崎英正